

西東京市人口推計調査報告書概要

1. 人口推計の概要

(1) 目的

- 西東京市では次期総合計画の策定にあたり、計画の目標年度における人口の動向を推測し、施策や事業の方向性、行政サービスの需要量などを判断することを目的として、平成 24 (2012) ~ 40 (2028) 年の男女別・5 歳階級別の人口を推計する。

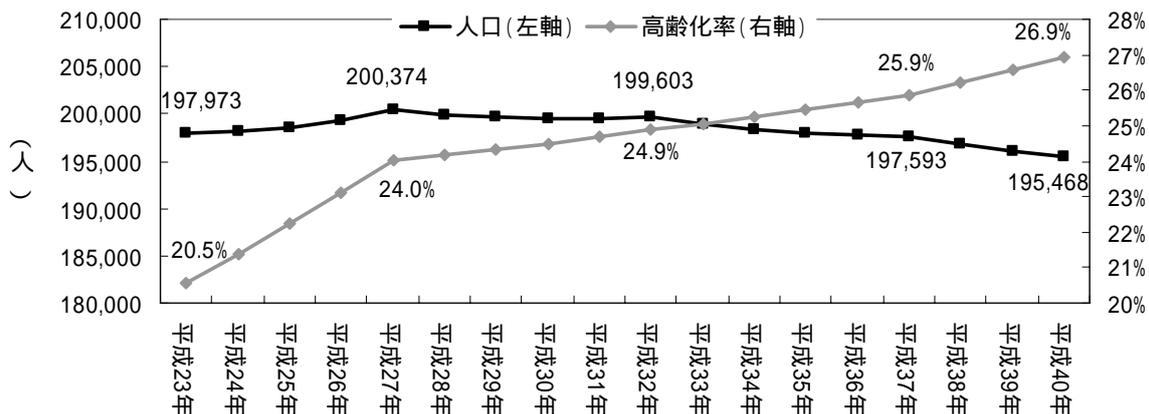
(2) 推計方法

- 人口の推計方法は、人口動態を同期に出生した集団 (コーホート) の出生数・死亡数といった自然動態と、転出・転入といった社会動態に分けて求めるコーホート要因法を用い、平成 23 (2011) 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳人口を基準として外国人登録人口を考慮し、平成 24 (2012) ~ 40 (2028) 年の男女別・5 歳階級別の人口を推計する。
- また、今後大規模住宅開発の減少が考えられることから、転入の鈍化による人口増加ペースの変化を考慮して、以下の 3 パターンについて推計を行うこととし、中位推計を採用する。
 高位推計：転入による人口の増加のペースが変わらない
 中位推計：転入による人口の増加のペースが一定程度低下する
 低位推計：転入による人口の増加のペースが大幅に低下する

2. 人口推計の結果 (中位推計)

- 人口は平成 23 (2011) 年の 197,973 人から平成 27 (2015) 年に 200,374 人と 1.2% 増加した後、減少に転じて平成 40 (2028) 年には 195,468 人まで 1.3% 減少する見込みである (図表) 。
- なお、人口減少傾向の中、平成 32 (2020) 年には一時的に人口増加が見込まれるが、平成 23 (2011) 年の実績値において 35 ~ 44 歳の世代の人数が多く、これらの世代が 45 ~ 54 歳を迎える平成 32 (2020) 年、社会動態の確率として純移動率が高い世代と合致するために生じるものである。
- 市全体の人口が減少する中、65 歳以上の高齢者は増加を続けて、高齢者の人口に対する割合 (高齢化率) は平成 23 (2011) 年の 20.5% から平成 40 (2028) 年には 26.9% に達する見込みである。

図表 西東京市の人口推計の結果 (中位推計)



注：平成 23 年は、実績。

3. 前回の人口推計との比較

- 「西東京市人口推計調査報告書」(平成19年3月)における前回の人口推計では、平成14(2002)～19(2007)年の住民基本台帳人口および外国人登録人口をもとに、大規模開発のペースについて高位・中位・低位の3パターンを設定して平成35(2023)年まで推計を行い、中位推計を採用している。平成23(2011)年の人口は前回の人口推計の高位推計と中位推計の間にあり、人口は想定をやや上回るペースで増えている。
- 今回の人口推計は自然動態や社会動態等に関する前提条件が前回の人口推計よりも低く、高位・中位・低位ともに前回を下回っている(図表)。今回の中位推計は前回の中位推計と低位推計の間に位置する。

図表 前回の人口推計との比較(単位:人)

	今回			前回			(今回) - (前回)		
	高位	中位	低位	高位	中位	低位	高位	中位	低位
平成23年 (注)	197,973	197,973	197,973	198,655	197,680	196,689	-682	293	1,284
平成27年	203,030	200,374	197,709	204,509	201,550	198,529	-1,479	-1,176	-820
平成32年	204,995	199,603	194,343	205,541	200,030	194,427	-546	-427	-84
平成35年	205,099	197,990	191,119	205,506	198,479	191,276	-407	-489	-157

注:平成23年は、今回では実績、前回では推計。